

UreyukiBox 操作マニュアル

本マニュアルは、UreyukiBox（ウレユキボックス）をご紹介いただくパートナー様（メディア編集者様・制作会社ご担当者様）向けの操作説明書です。Shopify アプリに詳しくない方でも読み進められるよう、専門用語をできるだけ使わずに説明しています。実際の画面のボタン名・入力欄名をそのまま記載していますので、記事作成やお客様へのご案内にそのままお使いいただけます。

- 本マニュアルは、全機能が使える **Business プラン**の画面を例に説明します。章ごとの対象プランは各章の注記をご覧ください。
- 掲載しているスクリーンショットは、開発環境のデモデータで実際にアプリを操作して撮影したものです。実際の画面では貴店の商品・数値が表示されます。
- 主要な手順には「操作 → 期待される結果」の**確認表**を添えています。表のとおり動くことを1行ずつ確かめられるので、デモや記事作成時のチェックリストとしてお使いください。

1. UreyukiBoxとは

UreyukiBox は、Shopify ストアの「仕入れ・発注」を助ける在庫管理アプリです。Shopify 公式の在庫管理アプリ「Stocky」が 2026 年 8 月 31 日に終了するため、その受け皿として日本のストア向けに作られました。

1.1 できることは3つです

1. **在庫が少なくなったらお知らせ** 商品の売れ行きを毎日チェックし、「そろそろ発注しないと在庫が切れそう」というタイミングでメール・Slack・LINE にお知らせを届けます。このお知らせは、**売れ行き（販売速度）に安全在庫・季節性（お中元・お歳暮・祝日）を加味した需要予測**です。予測の根拠（補充目標 - 在庫 - 入荷予定）は画面でそのまま確認できます。
2. **注文書（発注書）を作成** 商品を仕入先ごとにまとめた注文書を作れます。数量は、Free プランでは手入力、Starter プラン以上では発注が必要な数量を自動で提案します。数量・単価・税区分を画面上で直してから、PDF や CSV で出力できます。
3. **Stockyからのデータ引き継ぎ** Stocky に貯まった仕入先・発注書・在庫調整・税区分のデータを、関連を保ったまま UreyukiBox に取り込めます（詳しくは第3章）。

1.2 Shopify 純正との役割分担（正直にお伝えします）

UreyukiBox は「なんでもできる」アプリではなく、**予測と発注書づくりに集中し、在庫台帳は Shopify 純正と共有する設計**です。**発注ステータス管理（注文済み・入荷待ち）と入荷処理はアプリ内で完結でき、入荷登録した数量だけを Shopify の在庫台帳へ反映します。** いまの分担を正直にお伝えします。

- **Shopify の在庫を勝手に書き換えません（安全設計）。** UreyukiBox が Shopify の在庫を書き換えるのは、**あなたがアプリ内で操作したとき**だけです。具体的には ①入荷登録で「Shopifyの在庫に反映」を選んだとき ②在庫調整を登録したとき ③棚卸しを確定したとき ④拠点間の在庫移動を登録したとき——の4つです。同期・予測・発注書づくりはすべて読み取りのみで、アプリを入れたせいで在庫数が勝手に変わってしまう、という事故が構造上起きません。
- **入荷処理（受領）は UreyukiBox 内で完結できます。** 「発注済み・入荷」ページで届いた数量を登録（分納可）すると、その数量だけが **Stocky と同じ Shopify の在庫台帳**へ反映されます。Shopify 純正の受領操作を使い続けることもできます（その場合はアプリ側の「Shopifyの在庫に反映」をオフにして二重計上を防いでください）。
- **発注書のステータス（注文済み・一部入荷・入荷済み）もアプリ内で一元管理します。** 注文書を「注文済みとしてマーク」すると、入荷待ちの数量は次回の発注提案から自動で差し引かれ、二重発注を防ぎます。
- **注文書は、Shopify にある商品から作ります。** 注文書は、Shopify にある商品（仕入先を設定したもの）を元に作成します。Free プランでは数量を手入力して注文書を作成でき、Starter プラン以上では発注が必要な数量を自動で提案します（第6章）。Shopify に無い商品を白紙から書き足す使い方には、いまは対応していません。

1.3 毎朝の自動処理の流れ

UreyukiBox は毎朝、次の処理を自動で行います。ストア側の操作は不要です。

【毎朝の自動処理】

(1) Shopifyの最新データの取り込み

商品・注文・在庫・拠点の情報を読み取ります

|



(2) 売れ行きの再計算

直近30日の販売実績から

「1日あたりの販売ペース」を商品ごとに計算します

|



(3) 在庫のチェック

「入荷までの日数 + 余裕日数」ぶんの在庫を

下回った商品を見つけます

|



(4) お知らせ + 注文書の下書き

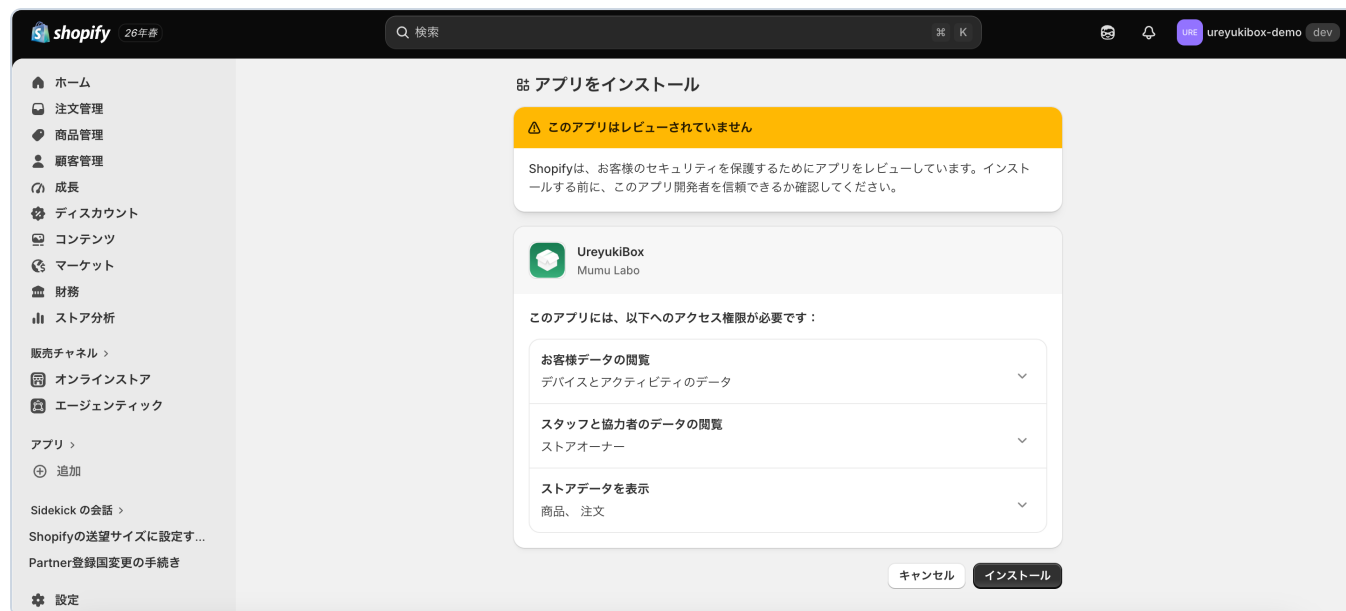
メール / Slack / LINE にお知らせを送り、

仕入先ごとに注文書の下書きを自動作成します

2. インストールと初期設定

2.1 Shopify App Storeから追加する

1. Shopify 管理画面にログインします。
2. Shopify App Store で「UreyukiBox」を検索し、アプリのページを開きます。
3. 「インストール」を押します。
4. 許可を求める画面が表示されるので、内容を確認して承認します。



2.2 求める許可の意味（読み取り＋在庫の書き込み）

インストール時に表示される許可は、**読み取り**（`read_products` / `read_orders` / `read_all_orders` / `read_inventory` / `read_locations`）と、**在庫の書き込み**（`write_inventory`）です。

- **読み取り** — 商品・注文・在庫・拠点を需要予測と注文書づくりに使います（`read_all_orders` は 60 日より前の注文履歴も予測に使うための権限です）。「お客様データの閲覧」と表示されるのは注文情報に顧客・デバイス等のデータが含まれるためで、需要予測の集計にのみ利用します。
- **在庫の書き込み** — 入荷登録・在庫調整・棚卸し・拠点間の在庫移動で在庫を更新するために必要です。

在庫が変わるのは、**ストアオーナー様がアプリ内で操作したときだけです**（①入荷登録で「Shopifyの在庫に反映」を選んだとき ②在庫調整を登録したとき ③棚卸しを確定したとき ④拠点間の在庫移動を登録したとき）。同期・予測・注文書づくりはすべて読み取りのみで、アプリが自動で在庫を書き換えることはありません。また Shopify の仕組み上、書き込み権限は許可画面で**ストアオーナー様が承認するまで有効になりません**。

お客様から「勝手に在庫が変わったりしないの？」と聞かれた場合は、「**毎朝の同期は読み取りだけです。在庫が変わるのは、入荷登録・在庫調整・棚卸し・拠点間移動のいずれかをご自身で操作したときだけです**」とご案内ください。

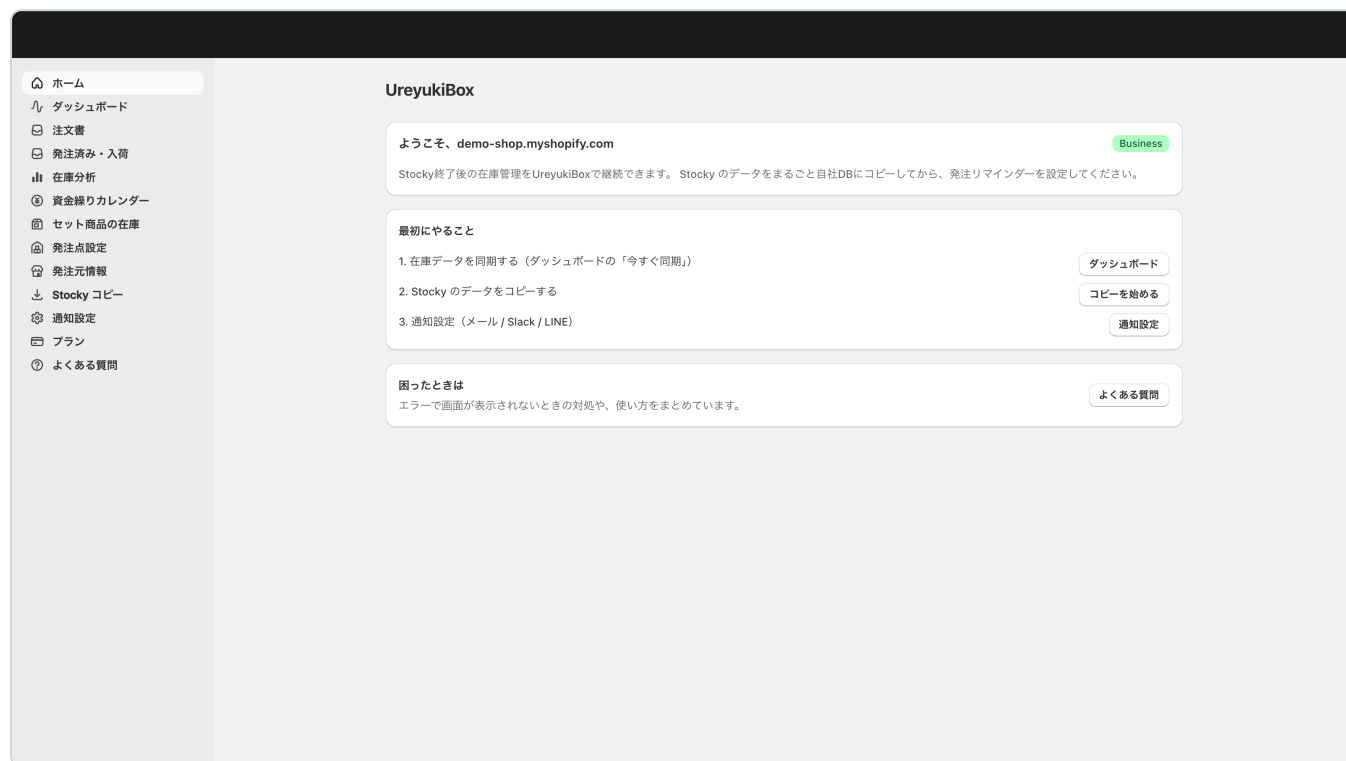
2.3 初回のデータ取り込み

インストールが終わると、ホーム画面（画面タイトル「UreyukiBox」）が開きます。「ようこそ、（ストアのドメイン名）」という表示の下に、「最初にやること」というチェックリストが表示されます。

1. **Stocky のデータをコピーする** — 「コピーを始める」ボタンから第3章の手順へ進みます（Stocky を使っていなかったストアは飛ばして構いません）。
2. **ダッシュボードで在庫状況を確認する** — 「ダッシュボード」ボタンで第4章の画面へ。
3. **通知設定（メール / Slack）** — 「通知設定」ボタンで第7章の画面へ。

Shopify の最新データの取り込みは、毎朝自動で行われます。すぐに結果を見たい場合は、ダッシュボード右上の「今すぐ同期」ボタンでその場で取り込みます。

⚠ Stocky をお使いだった場合は、コピーより先に「今すぐ同期」を1回実行してください。 インストール直後の UreyukiBox はまだ商品を1件も持っていません。この状態で第3章のコピーを実行すると、Stocky の発注履歴から商品と仕入先を結びつける処理が突き合わせる相手を見つけられず、「商品と仕入先の紐付け」だけが **0 件**になります（他の4種類は正常に入ります）。同期を先に済ませておけば、コピー1回で紐付けまで揃います。あとから同期した場合は、コピーをもう一度実行すれば紐付けが入ります（何度実行しても重複しません）。



2.4 プランの選択

プランが未選択の間は、ホーム画面に「プランを選択してください」という案内が表示されます。「プランを見る」ボタンから「プラン」画面に進み、プランを選びます。Free プランは無料で使い始められます。有料プランには 14日間の無料トライアルが付いています。プランの内容は第8章の早見表をご覧ください。

注記（表示される通貨について）：App Store の掲載ページや、プラン購入時の Shopify 課金承認画面では、金額が**米ドル（\$）で表示される場合があります**。これは Shopify の仕様によるもので、アプリの課金は「各ストアが Shopify に支払っている請求通貨」で行われるためです。**日本で Shopify に円で支払っているストアは、円（¥）で請求されます**（表示も承認画面も円になります）。開発用・テスト用ストアは請求通貨が米ドル固定のため \$ 表示になりますが、これは仕様とおりで、実際のストアの請求とは異なります。

出典（Shopify 公式ドキュメント）：

- [shopBillingPreferences \(Admin GraphQL\)](#) — 原文「アプリ・サービスの支払いに使う通貨。マーチャントのローカル請求通貨でアプリ課金を作成するために使う」＝各店の請求通貨で課金するのが Shopify の推奨。
- [appSubscriptionCreate \(Admin GraphQL\)](#) — 課金額と通貨を指定するミューテーション。

この章の確認表

#	操作	期待される結果
1	App Store で「インストール」を承認する	許可を求める画面に「読み取り」系の権限と、在庫の書き込み権限が並ぶ
2	インストールが完了する	ホーム画面に「ようこそ、(ストアのドメイン名)」と「最初にやること」が表示される
3	「プランを見る」を押す	「プラン」画面に4つのプランカードが表示される

3. Stockyからのデータ引き継ぎ

Stocky を使っていなかったストアは、この章はまるごと不要です。 データ移行をしなくても、在庫の同期から発注点の設定・注文書の作成まですべての機能をそのまま使えます。第4章へお進みください。

Stocky に貯めてきたデータを、4ステップの画面で UreyukiBox に取り込みます。ナビの項目名は「Stocky コピー」、画面タイトルは「Stocky データのコピー（取り込み）」です。

画面表記について: アプリ内の表記は「コピー」に統一されています（Stocky のデータを複製して取り込む＝Stocky 側のデータには触れず、そのまま残る、という意味です）。本章でいう「移行」はこのコピー操作のことです。本章のスクリーンショットには旧表記（「移行」）のものが含まれており、順次差し替え予定です。

- ・ **対象プラン:** すべてのプランでご利用いただけます（Free プランを含む）。Stocky からのデータ移行は無料で始められます。
- ・ **返金保証:** 当方の原因でデータ移行が完遂できなかった場合、移行直後の請求月を全額返金します。
- ・ **始める前に:** ダッシュボード右上の「今すぐ同期」を**1回実行しておいてください** (§2.3)。UreyukiBox 側に商品が入っていないと「商品と仕入先の紐付け」が 0 件になります。

引き継げるもの一覧

引き継げるデータ	内容
仕入先	Stocky に登録していた仕入先の情報
発注書	過去に作成した発注書
在庫調整	在庫の増減を記録した調整履歴
税区分	商品ごとの税区分（軽減・標準など）の設定
商品と仕入先の紐付け	過去の発注書から「どの商品をどの仕入先から買っていたか」を判定して自動で割り当て

これらは互いの関連（どの発注書がどの仕入先のものか、など）を保ったまま取り込まれます。取り込んだデータは UreyukiBox 側に保存されるため、Stocky が終了した後も参照できます。

3.1 Step 1: 説明を確認する

最初の画面には「Stocky のデータをまるごと救出します」という見出しと、「**先に在庫データの同期を済ませてください**」という注意書き、コピーの流れ（3項目）、「返金保証付き」の案内が表示されます。注意

書きの内容は §2.3 と同じで、同期前にコピーすると「商品と仕入先の紐付け」だけが 0 件になる旨の案内です。

1. 内容を確認します。
2. 「次へ」 ボタンを押します。



3.2 Step 2: Stockyの認証情報を入力する

画面見出しは「Stocky の認証情報を入力」です。入力するのは次の1つだけです。

1. 「**Stocky API key**」 — Stocky が発行する「合鍵」のような文字列です。システム同士の自動連携のために使います。Stocky の管理画面の人型アイコン → 「Preferences」 → 「API access」 → 「Generate」 から発行できます（発行方法へのリンクが画面内にあります）。

入力欄の下には「このキーはコピー処理にのみ使用し、保存しません」と明記されています。キーが UreyukiBox 側に残ることはありません。コピー元のストア名は、いまログインしているストアから自動で設定されるため入力不要です。

2. 入力したら「コピーを開始する」ボタンを押します（前の画面に戻るには「戻る」）。

🏠 ホーム

📊 ダッシュボード

📄 注文書

📦 発注済み・入荷

📈 在庫分析

📅 資金繰りカレンダー

📦 セット商品の在庫

📍 発注点設定

📄 発注元情報

↓ Stocky コピー

⚙️ 通知設定

📅 プラン

🗨️ よくある質問

← Stocky データのコピー（取り込み）

Stocky の認証情報を入力

Stocky 管理画面の人型アイコン → 「Preferences」 → 「API access」 → 「Generate」で API キーを発行してください。発行方法は [Shopify ドキュメント](#) を参照。

Stocky API key

.....

このキーはコピー処理にのみ使用し、保存しません

コピー元のストアは、いまログインしているストアから自動で設定されます（入力不要）。

戻る

コピーを開始する

3.3 Step 3: 取り込みの完了を待つ

画面見出しは「データをコピー中」です。「Stocky から仕入先・発注書・在庫調整・税区分を取得しています…」という表示と進み具合のバーが出ます。

- ・ 通常 1～10 分ほどで完了します。**このページを開いたままお待ちください。**
- ・ 失敗した場合は「コピーに失敗しました」という表示と「やり直す」ボタンが出ます。「やり直す」を押すと Step 2 に戻るなので、Stocky API key を確認して再実行してください。

🏠 ホーム

📊 ダッシュボード

📄 注文書

📦 発注済み・入荷

📈 在庫分析

📅 資金繰りカレンダー

📦 セット商品の在庫

📍 発注点設定

📄 発注元情報

↓ Stocky コピー

⚙️ 通知設定

📅 プラン

🗨️ よくある質問

← Stocky データのコピー（取り込み）

データをコピー中

🔄 Stocky から仕入先・発注書・在庫調整・税区分を取得しています...

通常 1～10 分ほどで完了します。このページを閉じても処理は続くので、開き直して確認できます。

3.4 Step 4: 完了と取り込み件数の確認

完了すると「Stocky データのコピーが完了しました」と表示され、仕入先・発注書・在庫調整・税区分・商品と仕入先の紐付けそれぞれの取り込み件数が一覧で確認できます。

1. 件数に大きな違和感がないか確認します。「**商品と仕入先の紐付け**」だけが **0 件**のときは、同期前にコピーした可能性が高いので、「今すぐ同期」を実行してからコピーをもう一度実行してください（重複はしません）。
2. 「ダッシュボードへ」ボタンで次の画面に進みます。



Stocky のデータをご確認いただき、上の画像のように件数が合っていることをご確認ください。エラーが出た場合は support@ureyukibox.app にエラー内容を文字かスクリーンショットで貼っていただき、050-6864-5901 までご連絡ください。すぐに対応させていただきます。

この章の確認表

#	操作	期待される結果
1	Step 1 で「次へ」を押す	「Stocky の認証情報を入力」画面に進む
2	Stocky API key を入力し 「コピーを開始する」を押す	「データをコピー中」の進行表示に切り替わる
0	（事前）ダッシュボードで 「今すぐ同期」を実行しておく	商品が取り込まれる。未実施だと手順3で「商品と仕入先の紐付け」が 0 件になる

#	操作	期待される結果
3	完了まで待つ	「Stocky データのコピーが完了しました」と、5項目（仕入先・発注書・在庫調整・税区分・商品と仕入先の紐付け）の取り込み件数が表示される
4	「ダッシュボードへ」を押す	ダッシュボードが開き、取り込んだデータが反映されている

4. ダッシュボードの見方

「ダッシュボード」画面では、ストアの在庫の今の状態がひと目でわかります。

画面の見どころ

- **最終同期:** Shopify の最新データの取り込みが最後に行われた日時です。「未同期」と出ている場合は、まだ一度も取り込みが行われていません。
- **在庫合計:** 取り込んだ全商品の在庫数の合計です。
- **売れ筋 TOP 10:** 直近 30 日でよく売れた商品の上位10件です。 ※ Free・Starter プランでは直近7日間の集計になります。その場合は画面に「現在のプランでは直近7日間の集計です。30日履歴はProで解放されます」と案内が表示されます。
- **未対応アラート:** まだ確認していないお知らせ（在庫が少なくなった商品など）の一覧と件数です。

ボタンの使い方

1. **「今すぐ同期」**（画面右上）: Shopify の最新データの取り込みをその場で実行します。商品を追加した直後などにお使いください。
2. **「再計算」**（未対応アラートの横）: 取り込みと売れ行きの計算をやり直し、お知らせを最新の状態にします。

🏠 ホーム

📊 **ダッシュボード**

📄 注文書

📦 発注済み・入荷

📈 在庫分析

📅 資金繰りカレンダー

📦 セット商品の在庫

📍 発注点設定

📄 発注元情報

📄 **Stocky コピー**

📄 通知設定

📄 プラン

🔍 よくある質問

ダッシュボード

今すぐ同期

demo-shop.myshopify.com
最終同期: 2026/6/13 10:30:00 / 在庫合計: 4,823 個 Business

売れ筋 TOP 10（直近 30 日）

SKU	商品名	売上数量（直近 30 日）
FD-COFFEE-200G	スペシャルティ珈琲豆 200g	482
AP-TEE-WHT-M	オーガニックコットンTシャツ ホワイトM	341
FD-TEA-AS-50P	アッサム紅茶 ティーバッグ 50P	298
ZK-CANDLE-WD	木の香りキャンドル	256
FD-CHOCO-DARK	ダークチョコレート 80g	233
AP-TEE-BLK-L	オーガニックコットンTシャツ ブラックL	189
FD-JAM-STRAW	国産いちごジャム 200g	174
ZK-INCENSE-3P	和の香り お香 3種セット	142
FD-COOKIE-MIX	アソートクッキー詰め合せ	128
FD-COFFEE-DRIP	ドリップバッグ珈琲 10P	117

未対応アラート（3）

再計算

在庫切れ

ZK-CANDLE-WD
木の香りキャンドル / 現在 0 個（しきい値 0）

対応済みにする

在庫低下

FD-COFFEE-200G
スペシャルティ珈琲豆 200g / 現在 12 個（しきい値 24）

対応済みにする

11 / 41

5. 発注のタイミングを決める（発注点設定）※Starterプラン以上

「発注点（リードタイム）設定」画面では、「在庫がいくつを下回ったらお知らせするか」の基準（発注点）を決めます。Starter プラン以上の機能です。対象外のプラン（Free）では、この機能がアップグレードで使える旨の案内が表示されます。発注点を決めると、毎朝の在庫チェックによる発注リマインダー（第7章のお知らせ）が届くようになります。

5.1 基本の入力は2つ、任意の設定が2つです

商品ごとに、まず次の2つの日数を入力します。難しい計算は UreyukiBox が行います。

入力欄	意味
「リードタイム（日）」	発注してから商品が届くまでの日数
「安全在庫（日）」	念のための余裕日数（在庫を何日ぶん余分に持っておきたいか）

必要に応じて、次の2つも設定できます（空欄のままでも使えます）。

入力欄	意味
「目標サービスレベル」	欠品をどこまで避けたいか（90% / 95% / 99%）。販売のばらつきデータが貯まった商品では、選んだ水準に応じた統計的な安全在庫が発注点に自動で上乗せされ、行に「うち統計的安全在庫 +○」と内訳が表示されます
「最低発注数量（MOQ）」	仕入先が受け付ける最小ロット。設定すると、注文書の自動提案数量（第6章）がこの数を下回りません
「補充日数」	1回の発注で何日分まで補充するか。 空欄のままなら発注点ちょうどまで補充します（従来どおり）。例えば 30 と入れると「発注点 + 30日分の想定販売数」＝ 補充目標 まで戻す数量を提案します。空欄だと入荷した瞬間に在庫が発注点ちょうどになり、少し売れるとすぐ次の発注になるため、まとめ買いたい商品や送料が高い仕入先ではここに日数を入れてください

発注点の基本は「1日あたりの販売ペース ×（リードタイム＋安全在庫）」です。たとえば1日に2個売れる商品で、届くまで10日・余裕5日なら、在庫が30個を下回ったところでお知らせが届く、という考え方です。販売のばらつきデータがある商品はこれに統計的安全在庫が加わり、お中元・お歳暮などの季節は販売ペースが季節係数で補正されます。

5.2 商品ごとに設定する手順

- 画面には商品が仕入先ごとにまとまって表示されます。各商品の行に、在庫数と「日販」（1日あたりの販売ペース）が表示されています。
- 「リードタイム（日）」と「安全在庫（日）」に日数を入力します。
- 「保存」ボタンを押します。

4. 設定が済むと、商品の行に「発注点 ○」というバッジが付きます。在庫が発注点を下回っている商品には「要発注（発注点 ○）」、未入力の商品には「未設定」と表示されます。

ホーム

ダッシュボード

注文書

発注済み・入荷

在庫分析

資金繰りカレンダー

セット商品の在庫

発注点設定

発注元情報

Stocky コピー

通知設定

プラン

よくある質問

発注点（リードタイム）設定

StockyのCSVから取り込む

仕入先ごとにリードタイム（発注～入荷までの日数）と安全在庫日数を入力すると、販売速度から発注点を自動計算します

山田珈琲焙煎所

リードタイム日数

一括適用

スペシャルティ咖啡豆 200g

FD-COFFEE-200G 在庫 12 ・ 日販 1.6 要発注（発注点 24）

リードタイム（日）

安全在庫（日）

目標サービスレベル

発注点まで

最低発注数量（MOQ）

1回の発注で何日分まで補充するか

10

5

90%（標準）

発注点まで

未設定

保存

アッサム紅茶ティーバッグ 50P

FD-TEA-AS-50P 在庫 80 ・ 日販 1.2 発注点 15

リードタイム（日）

安全在庫（日）

目標サービスレベル

発注点まで

最低発注数量（MOQ）

1回の発注で何日分まで補充するか

7

5

90%（標準）

発注点まで

未設定

保存

国産いちごジャム 200g

FD-JAM-STRAW 在庫 5 ・ 日販 0.8 要発注（発注点 12）

リードタイム（日）

安全在庫（日）

目標サービスレベル

発注点まで

最低発注数量（MOQ）

1回の発注で何日分まで補充するか

10

5

90%（標準）

発注点まで

未設定

保存

大阪アパレル卸

リードタイム日数

一括適用

5.3 仕入先ごとの一括適用

同じ仕入先の商品は、届くまでの日数もだいたい同じことが多いものです。仕入先のまとまりの右上にある入力欄（「リードタイム日数」）に日数を入れて「一括適用」ボタンを押すと、その仕入先の全商品にリードタイムをまとめて設定できます。

ホーム

ダッシュボード

注文書

発注済み・入荷

在庫分析

資金繰りカレンダー

セット商品の在庫

発注点設定

発注元情報

Stocky コピー

通知設定

プラン

よくある質問

発注点（リードタイム）設定

StockyのCSVから取り込む

仕入先ごとにリードタイム（発注～入荷までの日数）と安全在庫日数を入力すると、販売速度から発注点を自動計算します

山田珈琲焙煎所

10

一括適用

スペシャルティ咖啡豆 200g

FD-COFFEE-200G 在庫 12 ・ 日販 1.6 要発注（発注点 24）

リードタイム（日）

安全在庫（日）

目標サービスレベル

発注点まで

最低発注数量（MOQ）

1回の発注で何日分まで補充するか

10

5

90%（標準）

発注点まで

未設定

保存

アッサム紅茶ティーバッグ 50P

FD-TEA-AS-50P 在庫 80 ・ 日販 1.2 発注点 15

リードタイム（日）

安全在庫（日）

目標サービスレベル

発注点まで

最低発注数量（MOQ）

1回の発注で何日分まで補充するか

7

5

90%（標準）

発注点まで

未設定

保存

国産いちごジャム 200g

FD-JAM-STRAW 在庫 5 ・ 日販 0.8 要発注（発注点 12）

リードタイム（日）

安全在庫（日）

目標サービスレベル

発注点まで

最低発注数量（MOQ）

1回の発注で何日分まで補充するか

10

5

90%（標準）

発注点まで

未設定

保存

大阪アパレル卸

リードタイム日数

一括適用

この章の確認表

#	操作	期待される結果
1	「リードタイム（日）」「安全在庫（日）」に日数を入れて「保存」を押す	行に「発注点 ○」バッジが付く（数値＝日販 × （リードタイム＋安全在庫）。販売のばらつきデータがある商品は統計的安全在庫が加算される）
2	在庫が発注点を下回っている商品を確認する	バッジが赤い「要発注（発注点 ○）」になっている
3	仕入先の「リードタイム日数」に日数を入れる	「一括適用」ボタンが押せる状態になる

6. 注文書をつくる・送る

UreyukiBox の中核機能です。「注文書を作成」画面を開くと、商品が仕入先ごとにまとまった注文書ができています。プランによって数量の入り方が変わります。

- **Free プラン（手動で作成）**：仕入先を設定した商品が仕入先ごとに並びます。発注したい商品の数量を手入力すると、金額・消費税・合計が自動で計算され、そのまま PDF / CSV に出力できます。
- **Starter プラン以上（自動で提案）**：発注が必要になった商品（発注点を下回った商品）だけが自動で集計され、発注すべき数量まで提案された状態で下書きが用意されます。ゼロから作る必要はありません。

6.1 下書きができる仕組み

Starter プラン以上（自動注文書）：画面の説明文にあるとおり、「販売速度・在庫・入荷予定から発注点を割った商品をサプライヤー別に集計します」。つまり、第5章で設定した発注点を下回った商品が、仕入先（サプライヤー）ごとに1枚の注文書ドラフトにまとまり、発注すべき数量まで自動で入ります。

Free プラン（手動注文書）：発注点の設定はありませんので、仕入先を設定した商品が仕入先ごとに並びます。数量は空欄で、発注したい商品にご自身で数量を入力します。画面には「発注数量を手入力してください」という案内が表示されます。数量を入れると金額・消費税・合計が計算されます。

- 画面上部の選択欄で、どの仕入先の注文書を表示するか切り替えられます。
- 商品が並ばないときは、まず商品に仕入先を設定してください（仕入先が未設定の商品は注文書に出ません）。Starter プラン以上では、加えて発注点を下回るまで下書きに現れません。

ホーム

ダッシュボード

注文書

発注済み・入荷

在庫分析

資金繰りカレンダー

セット商品の在庫

発注点設定

発注元情報

Stocky コピー

通知設定

プラン

よくある質問

注文書を作成

CSVダウンロードPDF（印刷・保存）その他の操作▼注文済みとしてマーク

販売速度・在庫・入荷予定から発注点を割った商品をサプライヤー別に集計します

季節補正プレビュー

実際の日付で計算

① お中元の季節補正を適用中

直近の販売速度を1.30倍して発注点と推奨数量を計算しています。数量欄の下で、補正後の発注点・在庫・入荷予定を確認できます。

サプライヤー

山田珈琲焙煎所

配送先

東京倉庫

「注文済みとしてマーク」を押すと発注が確定し、入荷待ちの数量は次回の発注提案から自動で差し引かれます。入荷の記録は「発注済み・入荷」ページで行います。Shopify 純正の注文書で入荷・受領まで管理している場合は、「その他の操作」の「Shopify注文書用CSV」で純正へ渡せます（同じ発注を両方に登録すると二重に差し引かれるため、どちらか一方で管理してください）。

仕入単価は目安です

一部の商品はShopifyに仕入原価が未設定のため、販売価格を目安に金額を計算しています（「目安」表示）。仕入単価欄に手入力するか、Shopify商品の原価（原価管理）を設定すると正確な発注金額になります。

商品を発注書に追加

商品名またはSKUで検索

追加する商品

商品を選択

追加

費用サマリー

軽減税率 8% 対象	¥6,350
うち消費税	¥508
標準税率 10% 対象	¥10,000
うち消費税	¥1,000
合計（税込）	¥17,858

注文書の詳細

発行日

07/28/2026

参照番号

例: PO-2026-001

希望納品日

mm/dd/yyyy

サプライヤーへのメモ

サプライヤー情報

適格請求書発行事業者

T1234567890123

編集

15 / 41

6.2 明細を直す（数量・単価・税区分）

下書きの明細は一覧表になっています。列は左から「商品名」「SKU」「在庫」「入荷予定」「数量」「単価」「税区分」「金額」「サプライヤー変更」「除外」です。

- **SKU** は、商品の種類を区別するための番号です。
- **数量**: Starter プラン以上では、おすすめの発注数が最初から入っています（そのまま使っても、書き換えても構いません）。数量欄の下には「補充目標 ○ - 在庫 ○ - 入荷予定 ○ = ○」という計算の内訳が表示されるので、**なぜこの数なのか**がその場で確認できます（補充日数（第5章）が未設定の商品は補充目標＝発注点なので「発注点 ○ - …」と表示されます）。発注済みでまだ届いていない分（入荷予定）を差し引くため、二重発注になりません。最低発注数量（MOQ・第5章）を設定した商品は、提案数量がその数を下回りません。Free プランでは数量は空欄で、発注したい数をご自身で入力します（自動提案・内訳の自動計算は付きません）。
- **単価**: 発注時の1個あたりの仕入値です。手入力すると「手動」というバッジが付き、次回以降も覚えてくれます。「デフォルトに戻す」で元に戻せます。
- **税区分**: 「軽減 8%」「標準 10%」から選びます。食品などは軽減、それ以外は標準が一般的です。
- **サプライヤー変更**: 商品を別の仕入先の注文書へ移せます。
- **除外**: チェックすると、その商品を今回の注文書から外せます。

単価に「目安」と表示される理由 Shopify には「仕入原価」の正式なデータ項目がありません。そのため原価が登録されていない商品は、販売価格をもとにした**目安の金額**で計算し、「目安」と表示します。画面にも「仕入単価は目安です」という案内が出ます。単価欄に実際の仕入値を手入力するか、Shopify の商品情報に原価を登録すると、正確な発注金額になります。

6.3 適格請求書番号（インボイス）を登録する

画面右側の「サプライヤー情報」カードで、仕入先の適格請求書の登録番号を管理できます。

1. 「編集」を押します。
2. 「サプライヤー 登録番号」欄に、「T」に続けて数字13桁（例: T1234567890123）を入力します。

3. 「保存」を押します（やめる場合は「取消」）。

登録済みの仕入先には「適格請求書発行事業者」バッジが、未登録の仕入先には「サプライヤー 登録番号 未登録」バッジが表示されます。未登録（免税事業者など）の仕入先では、支払う消費税の一部しか控除できない「経過措置」の対象になるため、画面に控除できる割合と金額の内訳が警告として表示されます。会計処理の注意点が発注の時点でわかる仕組みです。

軽減税率 8% 対象	¥6,350
うち消費税	¥508
標準税率 10% 対象	¥10,000
うち消費税	¥1,000
合計 (税込)	¥17,858

発行日	07/28/2026
参照番号	例: PO-2026-001
希望納品日	mm/dd/yyyy
サプライヤーへのメモ	

適格請求書発行事業者
T1234567890123
編集

6.4 PDF・CSVで出力する

仕上がった注文書は、画面右上のボタンから出力します。画面右上でいちばん目立つ濃色のボタンが「注文済みとしてマーク」（発注の確定＝§6.5）で、出力は次の3つです。

1. 「**CSVダウンロード**」：仕入先へ送る発注書を表計算ソフトで開けるファイルとして保存します（明細・軽減／標準別の集計・登録番号つき＝適格請求書対応の正本）。
2. 「**PDF (印刷・保存)**」：印刷用の画面が開き、そのまま印刷するか PDF として保存できます。
3. 「**Shopify注文書用CSV**」：Shopify 純正の**「注文書」画面専用**の取り込みファイルです（SKU・バーコード・数量・原価・税率 だけのフラットな形式。商品一括登録や在庫画面のインポートには使えません。手順は §6.6）。画面幅によっては「**その他の操作**」の中に入ります。

出力される注文書には、明細と金額（軽減・標準それぞれの小計と消費税）、仕入先の登録番号、そして第8章で設定する発注元情報（自社の名前・住所など）が印字されます。画面右側の入力欄で、発行日などの記載事項も調整できます。

発注から入荷までを UreyukiBox の中だけで回す場合、この橋渡しは不要です（§6.5）。Shopify 純正の注文書画面でも入荷予定・受領を管理したいときに、「**その他の操作**」の中の「**Shopify注文書用CSV**」を使います（発注データを純正の台帳へつなぐ「橋渡し」専用の形式。全体図は資料05）。同じ発注をアプリと純正の両方に登録すると二重に差し引かれるため、どちらか一方で管理してください。仕入先向けの「CSVダウンロード」／PDF は明細や税区分を含む発注書の体裁のため、純正の取り込み欄には使いませ

ん。なお Shopify は注文書まわりの新しい連携方法（API）を発表する見込みで、CSV 取り込みの方式は将来変わる可能性があります。その場合も UreyukiBox 側は受け渡し方法を差し替えるだけで、注文書づくり自体はそのまま使えます（公開後の対応予定は資料06）。

発行日: 2026-07-12
配送先: 東京倉庫
発注元
デモ商店株式会社
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-2-3
TEL: 03-1234-5678
登録番号: T1234567890123

発注書

山田珈琲焙煎所 御中
仕入先 登録番号: T1234567890123

SKU	商品名	在庫	発注数	仕入単価	税区分	小計
FD-COFFEE-200G	スペシャルティ珈琲豆 200g	12	4	¥800	軽減 8%	¥3,200
ZK-MUG-01	陶器マグカップ	6	20	¥500	標準 10%	¥10,000
FD-JAM-STRAW	国産いちごジャム 200g	5	7	¥450 (目安)	軽減 8%	¥3,150

軽減税率8%対象
うち消費税
標準税率10%対象
うち消費税

¥6,350
¥508
¥10,000
¥1,000

合計 (税込) ¥17,858

※「目安」表示の仕入単価は、Shopifyに仕入原価が未設定のため販売価格を暫定使用しています。

6.5 発注を確定する・入荷を記録する（発注済み・入荷）

発注の確定から入荷・在庫反映までは、アプリの中だけで完結できます（どのプランでも利用できます）。

- 下書きの内容（数量・単価・除外）を確認したら、画面右上の濃色ボタン「注文済みとしてマーク」を押します。確認ダイアログで品目数と合計点数を確かめて OK すると発注が確定し、PO-2026-0001 のような発注書番号が採番されます。
- 確定した発注書は、ナビの「発注済み・入荷」ページに「入荷待ち」として並びます。未入荷の数量は次の発注提案から自動で差し引かれるため、同じ商品を二重に発注してしまう心配がありません。
- 商品が届いたら、届いた数量を入力して「入力した数量を入荷登録」を押します。一部だけ届いたときはその数だけ登録すれば「一部入荷」になり、残りは入荷待ちのまま管理されます（分納対応）。入荷の実績はリードタイムの統計（安全在庫の精度）にも使われます。
- 「Shopifyの在庫に反映する」にチェックを入れて入荷登録すると、登録した数量だけが Shopify の在庫へ加算されます。チェックは既定でオフで、一度変えると次回からはその設定で始まります（店舗ごとに記憶）。Shopify 側でも同じ入荷を処理している店舗ではオフのままにしてください（二重計上防止）。拠点が複数あるストアで在庫への反映を使えるのは、反映先の拠点を选べる Business プランのみです（入荷の記録と発注提案からの差し引きは、どのプランでもそのまま使えます）。
- 誤って確定した発注書は、全量入荷する前なら「発注をキャンセル」で取り消せます。

ホーム

ダッシュボード

注文書

発注済み・入荷

在庫分析

資金繰りカレンダー

セット商品の在庫

発注点設定

発注元情報

Stocky コピー

通知設定

プラン

よくある質問

発注済み・入荷

「注文済みとしてマーク」で登録した発注書の入荷を記録します。入荷待ちの数量は発注提案から自動で差し引かれます

☐ Shopifyの在庫に反映する（東京倉庫）

入荷登録した数量を Shopify の在庫へ加算します。Shopify 側でも同じ入荷を処理する場合はオフにしてください（二重計上防止）。

PO-2026-0007（山田珈琲焙煎所）

入荷待ち

発注をキャンセル

スペシャルティ珈琲豆 200g
SKU: FD-COFFEE-200G

発注 24 / 入荷済み 0 / 残 24

残 24

アッサム紅茶 ティーバッグ 50P
SKU: FD-TEA-AS-50P

発注 18 / 入荷済み 0 / 残 18

残 18

入力した数量を入荷登録

PO-2026-0006（大阪アパレル卸）

一部入荷

発注をキャンセル

オーガニックコットンTシャツ ホワイトM
SKU: AP-TEE-WHT-M

発注 30 / 入荷済み 20 / 残 10

残 10

入力した数量を入荷登録

「Shopifyの在庫に反映する」がオンのとき、入荷登録した数量だけを Shopify の在庫へ加算します（それ以外の場面で在庫を自動で書き換えることはありません）。入荷実績はリードタイムの統計（安全在庫の精度）にも使われます。

⚠️ Shopify 純正の注文書（§6.6 の橋渡し）でも同じ発注を管理する場合は、どちらか一方だけに登録してください。両方に登録すると入荷予定が二重に差し引かれ、次の提案数量が実際より少なめに出ます。

6.6 出力した CSV を Shopify 純正の注文書に取り込む（橋渡し）

UreyukiBox の「**Shopify注文書用CSV**」は、Shopify 純正の「注文書（発注書）」画面に取り込める形式で出力されます。UreyukiBox が作った発注内容を、そのまま純正の入荷予定・受領のしくみに載せられます。

- UreyukiBox の注文書画面で「**その他の操作**」→「**Shopify注文書用CSV**」を押してファイルを保存します（仕入先へ送る「CSVダウンロード」／PDF とは別のファイルです）。
- Shopify 管理画面で「**商品管理**」→「**注文書**」を開きます。
- 「**注文書を作成**」（または既存の注文書を開く）でサプライヤー・配送先を選び、**注文書の画面の中にある「インポート」**→「**ファイルを追加**」で手順1のファイルを取り込みます。⚠️ 取り込み場所は必ずこの注文書画面の中です。「商品管理」トップのインポート（商品一括登録用）や「在庫」画面のインポート（在庫数一括更新用）に同じファイルを入れると、必要な列が違いため「商品名の列は必須です」「無効なCSVヘッダーです」等のエラーになります。
- 取り込み内容（商品・数量・原価・税率）を確認して確定します。純正側は商品を **SKU またはバーコード（JAN）で照合** するため、Shopify 側の各商品に SKU かバーコードのどちらかが入っている必要があります（在庫同期済みなら通常は入っています）。どちらも未設定の商品はこの CSV に含まれないため、必要なら純正の注文書で手動追加してください。
- 発注を確定（発注済みにする）と、注文書に紐づく**在庫移管**を作成できます。移管が発送中になると純正の「入荷予定」に載ります（UreyukiBox の注文書ドラフトは入荷予定分を自動で差し引くため、同じ商品を二重に発注する心配はありません）。

届いたら：受け取りで在庫に自動反映 商品が届いたら、注文書に紐づく在庫移管の画面で**受け取り**を実行します。受け取った数量は **Shopify がそのまま手持ち在庫へ自動で加算**します（この経路では

UreyukiBox からの書き込みは発生しません）。UreyukiBox 側の在庫表示は、次回の自動同期（毎日）または手動同期で最新に追いつきます。アプリ内で入荷まで完結する場合は §6.5 の「発注済み・入荷」を使います（同じ入荷を両方で処理すると二重計上になるため、受領の管理はどちらか一方で行ってください）。

なぜ CSV が2種類あるのか 仕入先に送る正式な発注書（適格請求書対応）は明細・税区分・登録番号を含む体裁で、これは UreyukiBox 側の PDF / 「CSVダウンロード」が正本です。一方 Shopify 純正の注文書は、外部アプリからの直接の書き込みができない仕様（Shopify の制約）で、公認の橋渡しは純正フォーマット（SKU・バーコード・数量・原価・税率）の CSV 取り込みだけです。そこで純正へ渡す用の「**Shopify注文書用CSV**」を別に用意しています。取り込むと純正の入荷予定に載り、受領すると在庫に反映されます（全体像は資料05）。

6.7 配送先の切り替え（Businessプラン）

倉庫や店舗など拠点が複数あるストアでは、注文書の届け先（配送先）を拠点ごとに切り替えられます。Business プランの機能です。

1. 画面上部の配送先の選択欄で、届け先の拠点を選びます。選択欄に並ぶのは実在の拠点だけで、未選択の間は主拠点が選ばれた状態です（全拠点をまとめて合算する「全ロケーション」という選択肢はありません）。
2. 拠点を選ぶと、その拠点の在庫状況にもとづいた下書きに切り替わり、注文書にも届け先として印字されます。

拠点が1つだけのストアでは、選択欄は表示されず、自動的にその拠点が届け先になります。拠点が複数あっても Business 以外のプランでは主拠点の固定表示となり、他拠点の在庫を含めるには Business プランが必要です。

6.8 資金繰りカレンダー ※Starterプラン以上

ナビの「資金繰りカレンダー」では、いまの注文書ドラフトをそのまま発注した場合に、**いつ・いくら**の**仕入支払いが発生する見込みか**を週ごとに表示します。各商品のリードタイム（第5章）から入荷週を推定し、週次の支払見込み額として集計します。仕入れの支払いが特定の週に集中していないかを、発注前に確認できます。

🏠 ホーム

📊 ダッシュボード

📄 注文書

📦 発注済み・入荷

📈 在庫分析

📅 資金繰りカレンダー

📦 セット商品の在庫

📍 発注点設定

📄 発注元情報

📄 Stocky コピー

🔔 通知設定

📅 プラン

🔗 よくある質問

資金繰りカレンダー

発注が必要な仕入を入荷予定日で投影し、今後いくら現金が要るかを週次で見える化します

見直し期間

8週間

今後8週間で必要な仕入現金の合計

¥52,178

この期間より先（リードタイムが長い分）に¥34,320の支払いが見込まれます。

支払い週	必要現金	仕入先数	明細数
2026年7月13日の週～	¥17,858	2	3
2026年7月27日の週～	¥21,120	1	2
2026年8月10日の週～	¥13,200	1	1

この章の確認表

#	操作	期待される結果
1	「注文書を作成」画面を開く（Starter 以上）	発注点を下回った商品が、数量つきで仕入先ごとの下書きにまとまっている
1 ,	「注文書を作成」画面を開く（Free）	仕入先を設定した商品が数量空欄で並び、「発注数量を手入力してください」と案内される
2	明細の単価を手入力する	「手動」バッジが付き、「デフォルトに戻す」リンクが表示される
3	原価が未登録の商品の行を見る	単価に「目安」表示+「仕入単価は目安です」の案内が出る
4	「サプライヤー情報」カードで登録番号を保存する	「適格請求書発行事業者」バッジが表示される
5	「PDF（印刷・保存）」を押す	発注元・登録番号・軽減8%/標準10%別の集計が印字された注文書が開く

#	操作	期待される結果
6	「注文済みとしてマーク」を押して確認ダイアログに OK する	発注書番号が採番され、「発注済み・入荷」に「入荷待ち」として並ぶ。未入荷分は次回の発注提案から差し引かれる
7	「発注済み・入荷」で届いた数量を入力し「入力した数量を入荷登録」を押す	一部だけなら「一部入荷」になり残数が残る。 「Shopifyの在庫に反映する」がオンなら、登録した数量だけ Shopify の在庫に加算される
8	（純正でも管理する場合のみ）「その他の操作」→「Shopify注文書用CSV」を保存し Shopify 純正の注文書画面で取り込む	純正の「入荷予定」に発注が載り、受領で在庫に反映される
9	（Business）配送先で拠点を選ぶ	その拠点の在庫にもとづく下書きに切り替わり、数量の内訳表示も拠点の値になる

7. お知らせを受け取る（通知設定）

「通知設定」画面で、お知らせの届け先を設定します。UreyukiBox のお知らせは、**売れ行き（販売速度）に安全在庫・季節性（お中元・お歳暮・祝日）を加味した需要予測**にもとづく発注リマインダーです。実際に届くお知らせの文面にも、予測の根拠（販売速度など）の説明が毎回入っています。

対象プラン: お知らせ（発注リマインダー）は発注点を基準に判定するため、**Starter プラン以上**（第5章の発注点設定が前提）でご利用いただけます。Free プランでは発注点を設定できないため、発注リマインダーは届きません（Free では第6章の手動注文書で在庫を確認しながら発注します）。**届け先のうちメールは Starter プランから使え、Slack と LINE は Pro プラン以上でご利用いただけます。**

メール・Slack・LINE は併用でき、設定した宛先すべてに送信されます（Slack・LINE は Pro プラン以上）。届くのは、毎朝の自動処理（第1章参照）のあとです。

7.1 メールで受け取る

1. 「通知設定」画面を開きます。
2. 「通知メールアドレス」欄に、受け取りたいメールアドレスを入力します。
3. 「保存」ボタンを押します。「設定を保存しました」と表示されれば完了です。

7.2 Slackで受け取る（Proプラン以上）

Slack はチームで使うチャット道具です。UreyukiBox からのお知らせを、チームのチャンネルに直接届けられます。

1. Slack 側で「Incoming Webhook」を作成します。これは「このアドレスに送られたものをチャンネルに書き込む」という、Slack が発行する受け取り専用の住所（URL）です。作り方は画面の案内文にも記載があります。
2. 発行された URL を「Slack Incoming Webhook URL」欄に貼り付けます。
3. 「保存」を押します。

※ Free・Starter プランでは Slack 欄は入力できず、アップグレード（Pro プラン）の案内が表示されません。

ホーム

ダッシュボード

注文書

発注済み・入荷

在庫分析

資金繰りカレンダー

セット商品の在庫

発注点設定

発注元情報

Stocky コピー

通知設定

プラン

よくある質問

通知設定

保存

在庫低下・在庫切れアラートを送信する宛先を設定します。メール・Slack は併用でき、設定した宛先すべてに送信されます。

通知メールアドレス
alerts@demo-shop.example.jp

Slack Incoming Webhook URL
https://hooks.slack.com/serv

Slack ワークスペースで Incoming Webhook を作成し、URL を貼り付けてください

保存

LINE通知

チャネルアクセストークンや送信先IDの設定は不要です。次の2ステップだけで連携できます。

ステップ1: 公式アカウント（Bot）を友だち追加
スマホの方: ボタンをタップすると LINE が開きます
LINEで友だち追加

PC・別の端末の方: QRコードを LINE で読み取り


ステップ2: トークで連携コードを送信
A1B2C3D4 コードをコピー

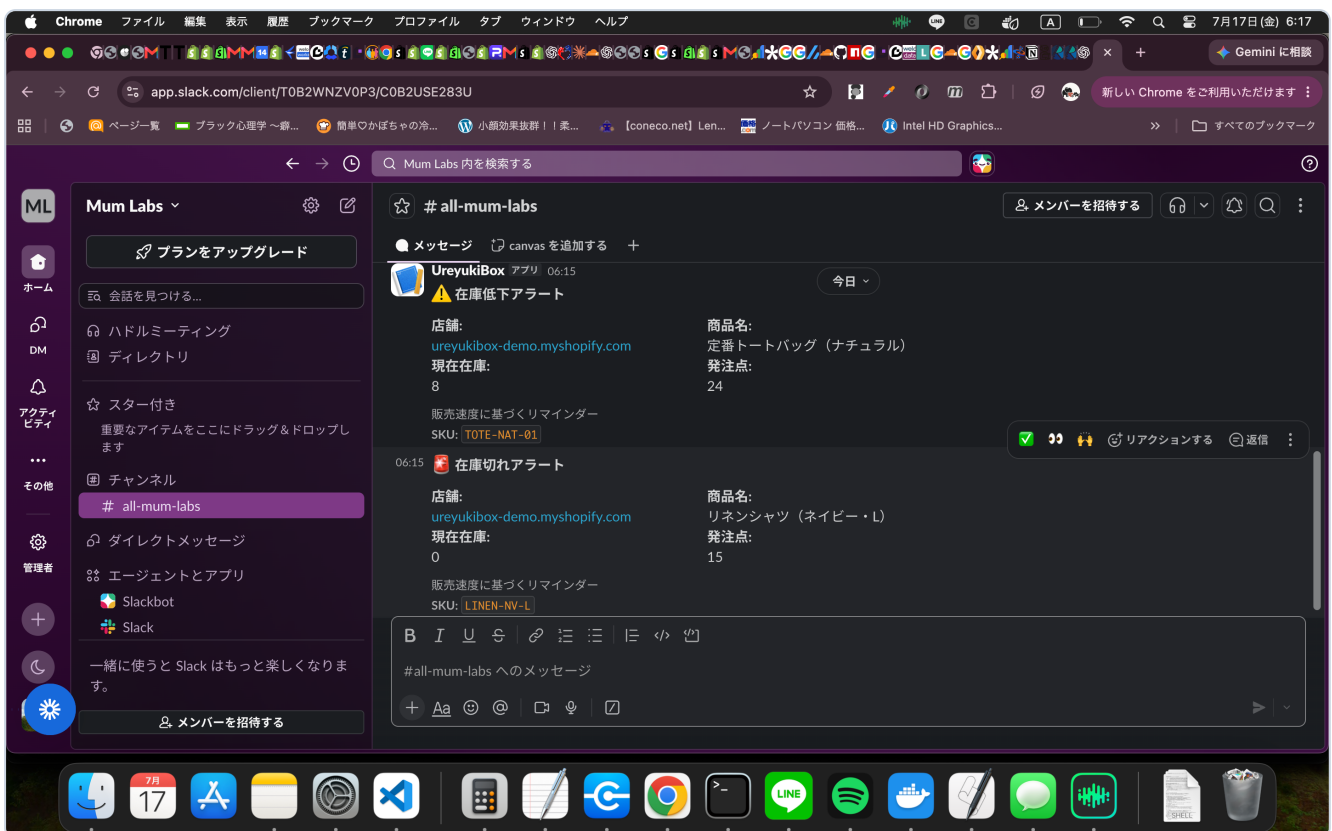
コードをコピーして LINE のトークに貼り付け・送信すると、自動で連携が完了します（このページを再読み込みするとステータスが更新されます）。

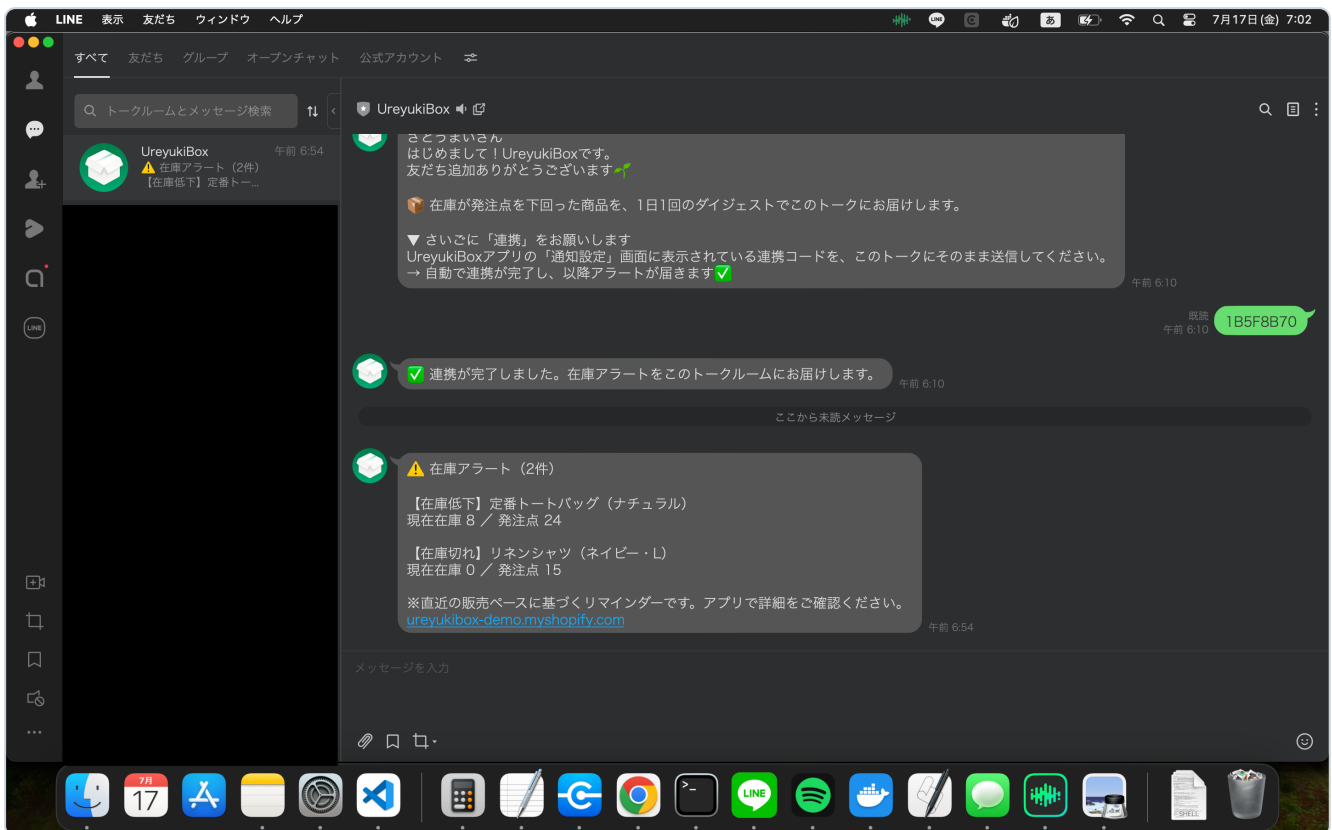
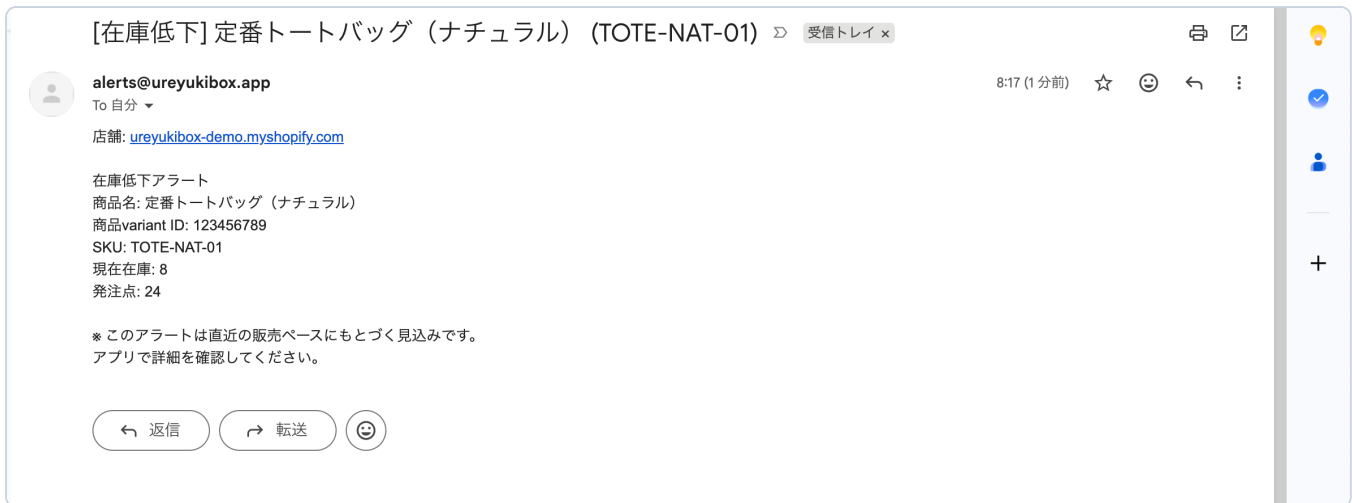
7.3 LINEで受け取る（Proプラン限定）

LINE 通知は Pro プランの特典です。1日1回、その日のお知らせをまとめた「ダイジェスト」が LINE に届きます。面倒な設定は不要で、画面の案内どおり2ステップで連携できます。

- ステップ1: 公式アカウント（Bot）を友だち追加** スマホの場合は「LINEで友だち追加」ボタンをタップします。パソコンの場合は、画面に表示される QR コードを LINE で読み取ります。
- ステップ2: トークで連携コードを送信** 画面に表示された連携コードを「コードをコピー」ボタンでコピーし、友だち追加したアカウントのトークに貼り付けて送信します。自動で連携が完了します（ページを再読み込みすると「連携済み」バッジが付きます）。

やめたいときは「連携を解除」ボタンでいつでも解除できます。





この章の確認表

#	操作	期待される結果
1	「通知メールアドレス」を入力して「保存」を押す	「設定を保存しました」と表示される
2	Slack の Webhook URL を貼り付けて「保存」を押す	以後のお知らせが指定チャンネルにも届く
3	LINE のトークに連携コードを送信する	ページ再読み込みで「連携済み」バッジが付く
4	翌朝の自動処理後に届いたお知らせを開く	販売速度にもとづくリマインダーである旨の説明が毎回入っている

8. 発注元情報とプラン

8.1 発注元情報（注文書に印字される自社情報）

「発注元情報」画面で登録した内容は、注文書（PDF・CSV）のヘッダに「発注元」として印字されます。未設定の場合、注文書に発注元が表示されません。注文書を仕入先に送る前に、必ず登録しておきましょう。

1. 「発注元情報」画面を開きます。
2. 次の項目を入力します。
 - 「会社名・屋号」
 - 「郵便番号」
 - 「電話番号」
 - 「住所」
 - 「適格請求書登録番号（任意）」 — 自社が適格請求書発行事業者の場合のみ。「T」に続けて数字13桁で入力します。形式が違うとその場でエラーが表示されます。
3. 「保存」を押します。「発注元情報を保存しました」と表示されれば完了です。

ホーム

ダッシュボード

注文書

発注済み・入荷

在庫分析

資金繰りカレンダー

セット商品の在庫

発注点設定

発注元情報

Stocky コピー

通知設定

プラン

よくある質問

発注元情報

保存

発注書（PDF・CSV）のヘッダに「発注元」として表示される自社情報です。未設定の場合、発注書に発注元が表示されません。登録番号は自社が適格請求書発行事業者の場合のみ入力してください。

会社名・屋号

デモ商店株式会社

郵便番号

150-0001

電話番号

03-1234-5678

住所

東京都渋谷区神宮前1-2-3

適格請求書登録番号（任意）

T1234567890123

自社が適格請求書発行事業者の場合のみ。「T」 + 数字13桁。

保存

8.2 プラン早見表

「プラン」画面でいつでもアップグレード・ダウングレード・解約ができます。Free 以外のプランには 14 日間の無料トライアルが付いており、プランのボタンにも「14日間無料で試す」と表示されます。

	Free	Starter	Pro	Business
月額	¥0	¥2,980	¥5,980	¥12,800

	Free	Starter	Pro	Business
商品数の上限	100	1,000	10,000	無制限
こんな方に	Stocky移行・ 手動運用	発注の自動化を 始めたい	在庫を数字で管 理したい	複数拠点・チ ーム運用
データの取り込み・売れ筋TOP10	○	○	○	○
Stockyデータ移行	○	○	○	○
手動で注文書を作成（数量手入力・ PDF/CSV）	○	○	○	○
発注点（リードタイム）設定（サービ スレベル・MOQ 含む）	—	○	○	○
発注数量の自動提案（自動注文書）	—	○	○	○
資金繰りカレンダー（週次の支払見込 み）	—	○	○	○
お知らせ（メールの発注リマインダー）	—	○	○	○
お知らせ（Slack）	—	—	○	○
お知らせ（LINE・1日1回のまとめ）	—	—	○	○
在庫分析（評価額・ABC分析）	—	—	○	○
売れ残り（デッドストック）の検知	—	—	○	○
セット商品（BOM）の組立可能数	—	—	○	○
売れ筋の30日集計	—	—	○	○
複数拠点（配送先・拠点別の在庫分析）	—	—	—	○
優先サポート	—	—	—	○

🏠 ホーム

📊 ダッシュボード

📄 注文書

📦 発注済み・入荷

📈 在庫分析

📅 資金繰りカレンダー

📦 セット商品の在庫

📍 発注元設定

📄 発注元情報

📄 Stocky コピー

🔔 通知設定

📄 **プラン**

🔗 よくある質問

プラン

いつでもアップグレード・ダウングレード・解約できます。Free 以外は 14 日間の無料トライアル付き。
[Pro の「在庫分析（評価額・ABC）」を見る](#)

Free

Stocky からの移行と手動運用に

無料

商品数 100 件まで

- ・Shopify 在庫の同期
- ・Stocky 完全データ移行
- ・手動で注文書を作成（数量手入力・PDF/CSV）
- ・売れ筋 TOP 10・在庫の見える化

選ぶ

Starter

発注の自動化を始めたい方へ

¥2,980 / 月

商品数 1,000 件まで

- ・Free のすべて
- ・発注点の自動計算（発注点管理）
- ・メールで発注リマインダー
- ・発注数量を自動提案（自動注文書）

14日間無料で試す

Pro

在庫を数字で管理したい

¥5,980 / 月

商品数 10,000 件まで

- ・Starter のすべて
- ・在庫分析（評価額・ABC分析）
- ・30 日売上履歴
- ・LINE・Slack 通知

14日間無料で試す

Business

複数ロケーション・チーム運用

¥12,800 / 月

商品数 無制限

- ・Pro のすべて
- ・拠点別の在庫・注文書・在庫分析
- ・優先サポート

現在のプラン

9. 在庫分析（評価額・ABC分析）※Proプラン以上

画面上部のナビ「在庫分析」から開きます。この画面では、在庫を「金額」と「売上への貢献度」の2つの軸で見える化します。Pro プラン以上の機能です。対象外のプラン（Free・Starter）では、この機能がアップグレードで使える旨の案内が表示されます。

画面の説明のとおり、「在庫評価額と売れ筋（ABC分析）で在庫を金額と貢献度の2軸で見える化します」。

9.1 在庫評価額

いま抱えている在庫が、いくらぶんあるかを合計金額で表示します。

- 画面上部に**在庫評価額の合計**が大きく表示されます。
- 計算式は「原価 × 在庫数」の合計です。原価は「手入力した仕入単価 > Shopify に登録された原価 > 販売価格」の順に採用します（画面にも同じ説明が出ます）。
- 原価が未登録の商品は販売価格で代用するため「目安」と表示され、「仕入単価は目安です」という注意が出ます。Shopify 商品の原価を設定すると正確になります（第6章の単価の考え方と同じです）。
- 明細表の列は「商品名」「SKU」「在庫」「単価」「評価額」です。

9.2 ABC分析（売れ筋ランク）

売上への貢献度が高い順に、商品を A・B・C の3ランクに分けて表示します（パレートの法則＝「売上の大半は一部の商品が生む」という考え方）。

- 明細表の列は「商品名」「SKU」「販売数」「売上」「累積構成比」「ランク」です。ランクは A（好調・緑）／B（青）／C（中立）のバッジで表示されます。
- **取扱商品が少ないストアへの注意:** 商品数が少ないと分析が偏るため（「一番の売れ筋でも C ランク」になり得ます）、その場合は「ABCランクは参考値です」という注意とともに表を畳んで表示します。「それでも表示」を押すと明細を確認できます。商品が増えるほど精度が上がります。

9.3 拠点別の在庫分析（Businessプラン）

複数拠点のストアでは、拠点（ロケーション）ごとの在庫評価額・ABC分析を確認できます。拠点を指定した分析は Business プランの機能です。

9.4 売れ残り（デッドストック）の検知

同じ「在庫分析」画面で、指定した期間（初期設定は90日）にひとつも売れていないのに在庫が残っている商品を「売れ残り（デッドストック）」として一覧表示します。最後に売れた日からの経過日数と、寝ている在庫の金額が分かるので、セールや処分の判断材料になります。

9.5 セット商品の在庫（組立可能数）

ナビの「セット商品の在庫」では、セット商品（キット）とその原材料（構成品）の対応を登録すると、いまの在庫で**あと何セット作れるか**（組立可能数）を表示します。いちばん在庫の少ない原材料がボトルネックとして分かります。在庫分析と同じく Pro プラン以上の機能です。

🏠 ホーム

📊 ダッシュボード

📄 注文書

📦 発注済み・入荷

📈 在庫分析

📅 資金繰りカレンダー

📦 セット商品の在庫

📍 発注点設定

📄 発注元情報

📄 Stocky コピー

🔔 通知設定

📄 プラン

🔗 よくある質問

セット商品の在庫

キット（組立品）を構成する原材料と数量を登録すると、原材料の在庫からあと何個組み立てられるかが分かります

キットを選択

選択してください

設定済みのキット一覧

キット	SKU	原材料数	組立可能数
コーヒーギフトボックス	GIFT-COFFEE-SET	2	6 編集
紅茶アソートセット	GIFT-TEA-SET	2	16 編集

この章の確認表

#	操作	期待される結果
1	ナビ「在庫分析」を開く（Pro 以上）	在庫評価額の合計と、評価額・ABC の明細が表示される
2	原価が未登録の商品を確認する	単価に「目安」表示＋「仕入単価は目安です」の注意が出る
3	取扱商品が少ないストアで開く	「ABCランクは参考値です」と表示され、「それでも表示」で明細を開ける
4	Free・Starter で開く	アップグレードの案内が表示される（Pro 以上で解放）

🏠 ホーム

📊 ダッシュボード

📄 注文書

📦 発注済み・入荷

📦 在庫分析

📅 資金繰りカレンダー

📦 セット商品の在庫

📍 発注点設定

📄 発注元情報

📄 Stocky コピー

🔔 通知設定

📄 プラン

🔗 よくある質問

在庫分析

在庫評価額と売れ筋（ABC分析）で在庫を金額と貢献度の2軸で見える化します

在庫評価額

¥117,450

原価（手入力 > Shopify原価 > 販売価格の順） × 在庫数の合計です。

商品名	SKU	在庫	単価	評価額
オーガニックコットンTシャツ ブラックL	AP-TEE-BLK-L	60	¥1,200	¥72,000
アッサム紅茶 ティーバッグ 50P	FD-TEA-AS-50P	80	¥300	¥24,000
スペシャルティ咖啡豆 200g	FD-COFFEE-200G	12	¥800	¥9,600
オーガニックコットンTシャツ ホワイトM	AP-TEE-WHT-M	8	¥1,200	¥9,600
国産いちごジャム 200g	FD-JAM-STRAW	5	¥450	¥2,250

ABC分析（売れ筋ランク）

商品名	SKU	販売数	売上	累積構成比	ランク
オーガニックコットンTシャツ ホワイトM	AP-TEE-WHT-M	341	¥818,400	31%	A
スペシャルティ咖啡豆 200g	FD-COFFEE-200G	482	¥771,200	59%	A
オーガニックコットンTシャツ ブラックL	AP-TEE-BLK-L	189	¥453,600	76%	A
アッサム紅茶 ティーバッグ 50P	FD-TEA-AS-50P	298	¥268,200	86%	B
木の香りキャンドル	ZK-CANDLE-WD	256	¥230,400	95%	B
国産いちごジャム 200g	FD-JAM-STRAW	174	¥135,720	100%	C

10. 倉庫のオペレーション（在庫調整・棚卸し・拠点間移動・バーコード）

現物を動かす作業をアプリ内で記録し、その結果を Shopify の在庫へ反映します。**この章の操作はすべて、実行したときにだけ在庫が変わります**（自動では動きません）。

10.1 在庫調整（理由コード付き）

破損・紛失・サンプル出しなど、販売以外の理由で在庫が増減したときに記録します。

1. ナビの「在庫調整」を開きます。
2. 商品（SKU）を選び、増減の数量を入力します。バーコードを読み取って商品を特定することもできます。
3. **理由コード**（破損・紛失・返品・サンプル など）を選びます。
4. 「登録」を押すと、調整の履歴が残り、Shopify の在庫へ反映されます。

理由コードを必須にしているのは、あとから「なぜ在庫が動いたか」を追えるようにするためです。棚卸しのズレの原因分析にも使えます。

10.2 棚卸し（実在庫カウント）

実際に数えた在庫と、システム上の在庫の差を確認して確定します。

1. ナビの「棚卸し」を開き、棚卸しを新規作成します（拠点を選びます）。
2. 商品ごとに数えた数量を入力します。**バーコード読取**で商品を読み出しながら進められます。
3. 入力の途中で保存でき、あとから続きを再開できます。
4. 内容を確認して**確定**すると、差分が在庫調整として記録され、Shopify の在庫が実棚の数量に合わせて更新されます。

確定するまで在庫は変わりません。数え間違いに気づいたら、確定前に修正してください。

10.3 拠点間の在庫移動

倉庫から店舗へ、店舗間で、といった在庫の移動を記録します。

1. ナビの「拠点間移動」を開きます。
2. **移動元の拠点**と**移動先の拠点**、商品と数量を指定します。
3. 「登録」を押すと、移動元の在庫が減り、移動先の在庫が増えます（両端が同時に更新されます）。

Shopify 純正の「在庫転送」は、進行中のものを取り消すのが難しい仕様です。UreyukiBox は純正の転送を作らず、**自前の移動記録+両端の在庫調整**として実装しています。記録の修正がしやすく、純正側に取寄せないデータを作りません。

10.4 バーコードの読取とラベル印刷

- **読取:** 入荷登録・在庫調整・棚卸しの各画面で、バーコード（JAN／SKU）を読み取って商品を特定できます。市販の USB バーコードリーダー（キーボード入力として動作するもの）やスマートフォンのカメラが使えます。
- **ラベル印刷:** 商品のバーコードラベルを印刷できます。バーコードが未設定の商品にも SKU から採番して発行できるため、現場での読み取り運用を始められます。

10.5 同一SKUに複数の仕入先

1つの商品（SKU）に対して、仕入先を複数登録できます。主たる仕入先と予備の仕入先を持っておき、注文書を作るときに切り替えられます（注文書画面の「サプライヤー変更」＝§6.2）。仕入先ごとにリードタイム・単価を別々に持てます。

この章の確認表

#	操作	期待される結果
1	「在庫調整」で数量と理由コードを入れて登録する	調整履歴が残り、Shopify の在庫がその数量ぶん変わる
2	「棚卸し」で数量を入力し、確定せずに離れる	入力内容が保存され、あとから続きを再開できる（在庫はまだ変わらない）
3	棚卸しを確定する	差分が在庫調整として記録され、Shopify の在庫が実棚に合う
4	「拠点間移動」で移動元・移動先・数量を登録する	移動元の在庫が減り、移動先の在庫が増える
5	バーコードを読み取る	該当商品が特定され、明細に入る

11. 実原価（諸掛の按分）※Proプラン以上

仕入の原価は、商品の代金だけでは決まりません。送料・関税・検品料などの「諸掛（しょがかり）」を含めて初めて、実際にいくらで仕入れたのかが分かります。UreyukiBox はこれを発注書ごとに計算します。

11.1 諸掛を登録する

1. 左メニュー「発注済み・入荷」を開きます。
2. 対象の発注書で「諸掛と実原価」を押して開きます。
3. **種類**（送料・輸送費／関税・輸入諸税／その他）、**金額**、**配分方法**を選び、「諸掛を追加」を押します。メモは任意です。
4. 追加した諸掛は一覧に並び、「削除」でいつでも取り消せます。

11.2 配分方法の選び方

配分方法	計算	向いている諸掛
金額比で配分	明細の金額（単価×発注数量）の比で割り振る	関税・保険料など、金額に比例するもの
数量比で配分	発注数量の比で割り振る	送料など、個数や体積に比例するもの

配分の重みには**発注数量**を使います（入荷済み数量ではありません）。入荷前は入荷済みが全行 0 になり、機能そのものが成立しないためです。**数量が 0 の明細には配分しません**（金額比のときも同様）。

11.3 表示される内容

項目	意味
商品計	明細金額の合計
諸掛計	登録した諸掛の合計
実原価合計	商品計＋諸掛計
配分された諸掛	その明細に割り振られた諸掛
実原価（1個あたり）	（明細金額＋配分された諸掛）÷ 発注数量

**配分された金額の合計は、諸掛の合計とぴったり一致します。 **端数は重みが正の最終行が吸収するため、差額が出ることはありません。

● **実原価は表示のみです。商品の原価（Shopify の原価・手入力の仕入単価）には書き戻しません。** 明細を編集した時点で古くなるため、画面を開くたびに計算し直しています。分納で受け取っても、1個あたりの実原価は変わりません（配分は発注数量で行うため）。

この章の確認表

#	操作	期待される結果
1	諸掛を1件追加する	明細に配分され、実原価合計が増える
2	追加した諸掛を削除する	配分が取り消され、実原価が元に戻る
3	数量 0 の明細を含む発注書で配分する	数量 0 の行には配分されない

12. レポート（利益・仕入先）※Proプラン以上

左メニュー「レポート」で、期間を指定して 2 種類の実績を確認できます。初期表示は直近 30 日です。集計の 1 日は**ストアのタイムゾーン**で区切ります。

12.1 利益（商品別）

売上・原価・粗利・粗利率を商品別に表示します。上部には期間全体の合計が出ます。

● 集計から除外した明細は、必ず件数で表示します。

除外の理由	表示	対処
原価が未設定の商品	「原価が未設定の商品: N 件」	「原価を設定する」から原価を入れる
売上がまだ同期されていない明細	「売上がまだ同期されていない明細: N 件」	次回の同期で自動的に集計へ入ります

原価を入れずに粗利 100% として混ぜると、粗利が実態より大きく出てしまうため、除外したうえで件数を開示しています。

⚠ 原価は「現在の設定値」を使います（Shopify は注文明細に仕入原価を持たないため）。原価をあとから変えると、過去の粗利も変わります。確定した過去の利益ではない点にご注意ください。

⚠ 表は上位 50 件までの表示です。上部の合計は、表に出ていない商品も含めた全体の金額です（表を足しても合計にはなりません）。対象件数は表の下に表示されます。

12.2 仕入先

列	意味
発注件数	期間内に発注した件数
発注金額	期間内の発注金額の合計
平均リードタイム	発注から入荷までの平均日数
納期どおり	予定日までに入荷した割合

● 入荷の実績がない仕入先は、リードタイムと遵守率を「―」で表示します（0 日・0% とは書きません）。「測って 0 だった」と「まだ測れていない」は違うためです。

⚠ **拠点でのフィルタはありません。注文に拠点が同期されていないため、絞ったつもりで全件が出る表示を作らない判断です。**

この章の確認表

#	操作	期待される結果
1	期間を変えて「この期間で表示」を押す	その期間で集計し直される
2	原価が未設定の商品がある状態で開く	除外件数と「原価を設定する」が表示される
3	入荷実績のない仕入先を見る	リードタイム・納期どおりが「―」になる

13. 品質保証（自動テストによる検証）

UreyukiBox は、本番と同等の環境で、リリースのたびに次の項目を自動で検証しています。

1. **ログイン認証が正しく効くこと** — 正しい認証情報でのアクセスだけが通り、不正なアクセス（トークン無し・期限切れ）は拒否されること。
2. **画面に実データが表示されること** — ダッシュボード（売れ筋・アラート）と注文書の下書きが、実際のデータで正しく描画されること。
3. **個人情報保護（GDPR）関連の受信処理** — Shopify から届く個人情報関連の通知（データ開示・削除依頼など）に正しく応答し、署名のない不正な通知は拒否すること。

本マニュアルの操作手順と各章の「確認表」は、この自動検証と同じ画面・同じ操作で確認したものです。紹介記事やデモで手順どおりに動かなかった場合は、contact@mumulabo.com までお知らせください。

14. よくある質問・困ったとき

お問い合わせ窓口: contact@mumulabo.com 平日を中心に、順番にお返事しています。お急ぎの場合も、まずはメールでご連絡ください。

Q1. これは需要の先読みをしてくれるアプリですか？

はい。売れ行き（販売速度）に安全在庫・季節性（お中元・お歳暮・祝日）を加味した需要予測です。予測の根拠（補充目標 - 在庫 - 入荷予定）は画面でそのまま確認できます。お客様にも同じ表現でご案内ください。

Q2. Shopifyの在庫が書き換わってしまう心配はありませんか？

ありません。同期・予測・注文書づくりはすべて読み取りのみです。UreyukiBox が Shopify の在庫を書き換えるのは、ストアオーナー様がアプリ内で操作したときだけで、経路は次の4つに限られます — ①入荷登録で「Shopifyの在庫に反映する」を選んだとき（§6.5・チェックは既定でオフ）②在庫調整を登録したとき ③棚卸しを確定したとき ④拠点間の在庫移動を登録したとき（いずれも第10章）。アプリが自動で在庫を書き換えることは構造上ありません。

Q3. Stockyが終了した後も、移行したデータは残りますか？

残ります。移行したデータ（仕入先・発注書・在庫調整・税区分）は UreyukiBox 側に保存されるため、Stocky のサービス終了後もアプリ内で参照できます。

Q4. 移行がうまくいかなかったらどうなりますか？

移行中に失敗した場合は、画面の「やり直す」ボタンから何度でも再実行できます。多くの場合、Stocky API key の入力間違いが原因です。それでも解決しない場合は contact@mumulabo.com までご連絡ください。なお、当方の原因でデータ移行が完遂できなかった場合は、移行直後の請求月を全額返金します。

Q5. お知らせが届きません。どこを確認すればいいですか？

次の順で確認してください。

1. 「通知設定」画面で宛先（メールアドレス・Slack の URL・LINE 連携）が保存されているか。
2. 「ダッシュボード」の「最終同期」に日時が入っているか。「未同期」の場合は「今すぐ同期」を押してください。
3. 発注点を使う場合（Starter 以上）、「発注点（リードタイム）設定」で対象商品が「未設定」になっていないか。
4. そもそも発注点を下回った商品がなければ、お知らせは届きません（正常な状態です）。

Q6. 注文書の単価に「目安」と出るのはなぜですか？

Shopify には仕入原価の正式なデータ項目がないためです。原価が未登録の商品は、販売価格をもとにした目安の金額で計算されます。単価欄に実際の仕入値を手入力するか、Shopify の商品情報に原価を登録すると、正確な金額になります。

Q7. 使いたい機能に「〇〇プラン以上の機能です」と表示されます。

その機能が今のプランに含まれていない状態です。「プラン」画面からアップグレードすると使えるようになります。プランごとの機能は第8章の早見表をご覧ください。ダウングレードもいつでも可能です。

Q8. 解約したいときはどうすればいいですか？

「プラン」画面からいつでも解約・ダウングレードできます。Free プランに切り替えて無料で使い続けることもできます。アプリ自体を削除（アンインストール）した場合も、それ以降の請求は発生しません。ご不明な点は contact@mumulabo.com までお問い合わせください。